

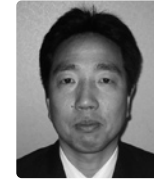


第28回 ソフトウェア品質シンポジウム2009 (SQiP(スキップ)シンポジウム)

JUSE - Software Quality Symposium

テーマ **現状打破 ~ソフトウェア品質で未来を勝ち取る~**

参加のすすめ



ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員長 小笠原 秀人

ソフトウェア品質シンポジウム(SQiPシンポジウム)は、ソフトウェア開発に関わるさまざまな方々が一堂に会し、現場で役立つ実践的な技術や経験、ノウハウ、研究成果を発表し意見交換を行う場です。

今年のテーマは、「現状打破 ~ソフトウェア品質で未来を勝ち取る~」です。ソフトウェア開発における問題は多くありますが、本質を見極めたうえで、いろいろな取り組みに果敢にチャレンジすることが大切だと思います。シンポジウムから得たヒントやアイデアを活用し、更に一歩進んで、先に進んでほしいという思いでタイトルを付けました。

今年の新しい試みとして、ハーフェィチュートリアルとして近年

注目を集めている6つのテーマを取り上げました。基本を学び、現在の活動を見つめ直す場として活用してください。そのほかのプログラムとしては、昨年と同様、基調講演、特別講演、チュートリアル、企画セッション、招待講演、パネル討論、SIG(Special Interest Group)によるグループ討論など、バラエティに富んだ内容を企画しました。

経験論文、経験発表には、30件を超える応募があり、今まで以上にソフトウェア開発の現場で実践されているさまざまな内容の発表と議論の場を提供することができました。本シンポジウムが、実践事例を発表する場として定着しつつあることはとても嬉しいことです。

現状のソフトウェア開発の状況を見てみますと、より深い専門性と、幅広い知見が、今まで以上に必要とされていると感じています。経験論文、経験発表をとおして、ソフトウェアの品質管理に

おける具体的なより実践的な専門性が得られるはず。さらに、そのほかのプログラムからは、より幅広い知見が得られると確信しております。

ソフトウェアの高品質化に対する要求が、今後ますます増えるのは確実です。地に足のついた実践的な品質向上活動を積み重ねることと並行して、今までのやり方を大きく変えるようなことにもチャレンジすることが求められていると思います。ぜひ、このシンポジウムで次につながる何かをつかみ取ってください。そして、自分たちの活動にフィードバックして、その結果をまたこのシンポジウムで発表していただければと思います。本シンポジウムが、ソフトウェア品質に関するさまざまな問題を解決するための「最初の一步」を提供できれば、このうえない喜びです。

ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員長 小笠原秀人

プログラム (敬称略)

日	時間	会場 (井上円了 ホール:5号館1階・地下1階)				
9月10日 木	10:00~10:15	【オープニング】 小笠原 秀人 (株)東芝,ソフトウェア品質シンポジウム委員会 委員長				
	10:15~11:45	【基調講演】 「プロセスと改革とリスクのバランスをとる」 Mark.C.Paulk (カーネギーメロン大学) ※ 逐次通訳				
	11:45~13:00	昼食休憩 (ランチセッション:昼食時間に「ツール 出展」企業からの発表を聴くことができます。昼食は主催者が準備致します。)				
	時間	A会場(6号館地下1階2号) 一般発表セッション1 「プロセス改善」	B会場(6号館地下1階3号) 一般発表セッション3 「要件定義・レビュー」	C会場(6号館地下1階4号) 一般発表セッション5 「ソフトウェアの複雑さ」	D会場(6号館地下1階5号) チュートリアルセッション1	
	13:00~13:30	1-1. 【経験発表】 「プロセス定着を測るメトリクスの定義と検証」 相澤 武(株)インテック	3-1. 【経験論文】 「記述漏れと曖昧な表記の防止を目的とした要件定義書の第三者品質スコアリングに向けた試み」 大杉 直樹(株)NTTデータ	5-1. 【経験論文】 「ソフトウェアの構造が品質に与える影響について」 中村 光宏(富士通株)	13:00~15:20 【チュートリアル】1. ★事前登録制 「顧客満足と開発者満足を両立するためのソフトウェア品質保証」 保田 勝通(つくば国際大学) ※休憩含む	
	13:30~14:00	1-2. 【経験発表】 「変更管理ツールを核としたシステム保守の品質・効率改善について」 田中 拓也(株)インテック	3-2. 【経験論文】 「要求仕様書におけるテストエンジニアの視点を活かした欠陥検出方法の提案」 近江 久美子(TIS株)	5-2. 【経験発表】 「プロトタイプング手法の効果的な選択方法の提案」 金山 豊浩(HCD-Net)		
	14:00~14:20	休憩				
	時間	一般発表セッション2 「新しい開発プロセス」	一般発表セッション4 「レビュー」	一般発表セッション6 「原因分析と改善」		
	14:20~14:50	2-1. 【経験論文】 「チケット駆動開発:BTSでExtreme Programmingを改善する」 小川 明彦(株)NRIネットワークコミュニケーションズ	4-1. 【経験論文】 「組込みソフトウェアの設計レビューの実践プロセスと課題」 佐藤 康田(広島市立大学大学院)	6-1. 【経験発表】 「新製品開発におけるソフトウェア品質改善事例」 小枝 徳晃(シスメックス株)		
	14:50~15:20	2-2. 【経験論文】 「XDDPにおけるUSDMの効果的活用法~担当者不在のベースソフトに対するXDDPの適用~」 中井 栄次(株)デンソー	レビューに関連した講演予定			
	15:20~15:40	休憩				
	時間	企画セッション1 「組織成熟度」	企画セッション2 「レビュー」	企画セッション3 「原因分析」		企画セッション4 「定量化」
	15:40~17:10	「組織成熟度」の壁を破る」 菅田 直美(日本電気株)	「レビュー」の壁を破る」 森崎 修司(奈良先端科学技術大学院大学)	「根本原因分析」の壁を破るープロジェクト完了時の振り返りと原因分析の勘所ー」 金子 龍三(株)プロセスネットワーク		「定量化」の壁を破る」 古山 恒夫(東海大学)
	17:10~17:30	休憩				
17:30~19:00	【SIG(Special Interest Group)】 テーマ1:モチベーションドリブンコミュニケーション テーマ2:ソフトウェアデザイン テーマ3:プロセス改善 テーマ4:システム開発のコミュニケーションブリッジ テーマ5:Agile UCD テーマ6:テスト改善 テーマ7:派生開発 テーマ8:現場改善活動の極意 テーマ9:コーチング的問題解決アプローチ テーマ10:仕事とやりがいの幸せサイクル テーマ11:SQiPBok ※「SIG」とは特定の興味あるテーマについて、メンバー同士が互いに知識や情報を交換する場です。					
19:00~20:00	【情報交流会】 [会場:カフェテリア(6号館地下1階)]					

日	時間	会場 (1102:1号館1階)				
9月11日 金	9:30~11:00	【特別講演】 「ル・マンで体験、工学の楽しさと奥深さ ~課題突破 力を創造する新しい工学教育~」 林 義正(東海大学 総合科学技術研究所 特任教授)				
	11:00~11:15	休憩				
	時間	A会場(6号館地下1階2号) 一般発表セッション7 「自動テスト」	B会場(6号館地下1階3号) 一般発表セッション10 「ソースコードメトリクス」	C会場(6号館地下1階4号) 一般発表セッション13 「品質特性」	D会場(6号館地下1階5号) チュートリアルセッション2	
	11:15~11:45	7-1. 【経験発表】 「失敗しない自働テストの導入」 古江 智和(株)フォーラムエイト	10-1. 【経験論文】 「中間成果物のサンプリングによる全体品質の推測に向けた分析」 笠井 則充(三菱電機株) / 奈良先端科学技術大学院大学	13-1. 【経験論文】 「品質特性および品質副特性の新しい解釈と利用」 阿部 智一(ネットスター株)	11:15~15:50 【チュートリアル】2. ★事前登録制 「ソフトウェア品質保証、「高い成熟度」の意味を理解する」 Mark C Paulk(カーネギーメロン大学) ※1. 逐次通訳 ※2. 昼食休憩、休憩含む	
	11:45~12:15	7-2. 【経験発表】 「スモークテスト自動化の効果と自動テスト戦略」 市川 正美(株)エス・キューシー		13-2. 【経験論文】 「ソフトウェア開発におけるテストスイートの品質特性の提案」 加文字 諭(電気通信大学大学院)		
	12:15~13:30	昼食休憩				
	時間	一般発表セッション8 「テストケース生成」	一般発表セッション11 「プロジェクトマネジメント」	チュートリアルセッション3		
	13:30~14:00	8-1. 【経験論文】 「Pairwise法と制約表による制御バステストのテストケース生成」 鶴巻 敏郎(岩通システム株)	11-1. 【経験発表】 「ウォーターフォール型の組み込みソフトウェア開発における進捗可視化事例」 土井 雄一(オムロン株)	13:30~15:50 【チュートリアル】3. ★事前登録制 「JCSQE初級資格対応:ソフトウェア技術者のための品質技術基礎」 野中 誠(東洋大学) ※休憩含む		
	14:00~14:30	8-2. 【経験論文】 「WEBシステムにおける画面遷移図表記法の提案と効果的なテストケースの作成」 大友 貴司(キヤノンITソリューションズ株)	11-2. 【経験論文】 「プロジェクトを成功させるチーム作りの考察と効果ープロジェクトファシリテーションー」 高橋 敏浩(株)日立システムアンドサービス			
	14:30~14:50	休憩				
	時間	一般発表セッション9 「モデル検査」	一般発表セッション12 「人材育成・コミュニケーション」			
	14:50~15:20	9-1. 【経験論文】 「表計算ソフトによるモデル検査の試行」 野村 卓司(三菱電機システムサービス株)	12-1. 【経験論文】 「ETSSを活用した自律型人材育成の取り組み事例ー自らの成長を自らドライブする自育成意識の醸成ー」 平野 誠太郎(オムロン株)			
	15:20~15:50	9-2. 【経験発表】 「C言語からPromelaを生成する変換機とその事例の紹介」 服部 彰宏(富士ゼロックス株)	12-2. 【経験論文】 「オフショア開発における中・日間の価値(判断)基準相違点の解決方法」 朱 小紅(杭州東忠科技有限公司)			
	15:50~16:10	休憩				
時間	会場 (井上円了 ホール:5号館1階・地下1階)					
16:10~17:40	【クロージングパネルディスカッション】 「ソフトウェア技術者・管理者人材の育成とSQiPシンポジウムの役割」 ※ 将来の日本が必要とする有能なソフトウェア技術者・管理者をどのようにして育成し、ソフトウェア分野における日本のリーダーシップをどう回復すべきかの道筋を議論するとともに、SQiPシンポジウムが高度なソフトウェア人材の育成に果たすべき役割について議論します。					
17:40~18:00	【表彰/クロージング】 小笠原 秀人(株)東芝 ソフトウェア品質シンポジウム 委員会 委員長) 堀 明広(株)NTTデータMSE ソフトウェア品質シンポジウム委員会 副委員長)					

※:プログラムは都合により変更になる場合がございます。
※:チュートリアルセッションは会場定員になり次第締め切らせていただく場合がございます。